

鴨池中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和4年7月25日(月)18:00~19:00

場所:鴨池公民館

令和4年10月
鹿児島市 市民協働課

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鴨池校区 コミュニティ協議 会	① 鴨池新町と真砂町の境界では、道路向かい でごみの回収日が異なる場所があり、自分の 住む地域を越境してごみを捨てる住民がい る。 回収日を同じにできれば問題は解消される と考えているが、地域の実情に応じてごみの 回収日を変更することは可能か。	① まずは、決められた日に、決められた場所へ出 していただくようルールとマナーの啓発にしま り取り組んでいきたいと考えている。 なお、ごみの収集日の設定については、概ね2 パターンあり、この2つが同じくらいの量になる こと、そして、その日のうちに回収が終わるよ うにコースを組んでいるところである。 このようなことから、今後の地区ごとのごみ 量の状況によっては、収集日の見直しが必要 となることも考えられ、その際には、今回 いただいたご意見を参考に検討してまいり たい。	環境局	【環境局】 市長回答のとおり。
2	みんサポ かもいけ	② 市が実施する「高齢者いきいきポイント推 進事業」では、市社会福祉協議会が募集・管 理するボランティア活動へ参加すると、参加 者(65歳以上の介護保険第1号被保険者)に ポイントが付与される仕組みとなっている。 大変よい取り組みと考えており、地域でも このような仕組みが作れないか検討するが なかなかできないところである。 このポイント付与の対象となる活動を、地 域に密着し地域課題を解決する活動、例 えば自分たちの校区コミュニティ協議会が 主催するボランティア活動等にも広げるこ とはできないか。 市でルール作りをするのではなく、コ ミュニティ協議会等の地域に、より主体 性をもたせ、ルール作りできるような取 組みをサポートしていただけるとありが たい。	② 「高齢者いきいきポイント推進事業」は、市 社会福祉協議会が募集、管理するボラン ティア活動を対象として、同協議会にポ イント管理を委託して実施していただ いている。 高齢者いきいきポイントは、換金が可 能なポイントであり、ボランティアの 促進になっていると思っている。 「高齢者いきいきポイント推進事業」 の対象範囲や団体等を広げることにつ いては、予算面での課題など検討が必 要であり、今後研究が必要であると考 えている。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり。
3	プティエ コール	③ 女性学級について、多くの地域の女性に興 味を持って参加いただけるよう、企画を しているところである。 もし、市長が女性学級の講師をす るとしたら、どんな内容で講演する か。	③ どの年代の女性が聞かれるかにもよ るが、概ね2つある。 1つは、本市の少子化対策と子育て支 援について、もう1つは、女性のIT 人材を育成していきたい。なぜなら ば、IT業界は人が足りない状況に ある。特に子育てをされている方 が空いた時間にできる仕事、かつ 稼げる仕事を作りたいと思ってい る。例えば、いきなりプログラミング はハードルが高いが、ITはいろ いろな仕事があるので、取り組 みやすい仕事もある。そういった 分野に興味を持ってもらえるよ うな話ができればと思っている。	教育委員会 こども未来局 教育委員会	【総務局】 女性のIT人材育成については、今 後、民間事業者と連携した取組を 進めていく。 【こども未来局】 市長回答のとおり。 【教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	中郡地域 コミュニティ協議 会	<p>④ 電車通り沿いのゴミステーションは、街の景観に配慮したものにしてほしい。中郡地域は、電車通り沿いの歩道に多くのゴミステーションを設置している。これらは、地域の他のゴミステーションと同様にネットをかぶせただけの簡単な構造になっている。そのため、収集時刻が遅くなってゴミが長時間そのままになっていたり、カラスなどでゴミが散乱していると街の印象を悪いものにしていく。</p> <p>観光都市である長崎市は、ゴミステーションとして中身の見えない丈夫な収容箱を設置している。都市のイメージ向上を図る観点から、電車通り沿いについては、収容箱タイプに取り換えてほしい。</p> <p>ゴミステーションを配慮することで、観光客に「鹿児島は素晴らしい街だ」という思いになってくれるのではないかと思っている。</p>	<p>④ 日頃より、ゴミステーションの美化、衛生活動への協力をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>ゴミステーションについては、道路に設置してある地域では固定式のものを置いたときに、通行に必要な幅を確保できるかが課題だと思う。通行の幅を確保できるところについては、清掃事務所又は担当課にご相談いただきたい。後日、担当課の方から話をさせていただくので、こういった形ができるのか一緒に検討していければと思う。</p>	環境局	<p>【環境局】 本市では、ゴミステーションの設置管理を町内会や利用される方々をお願いしているが、鳥獣被害対策として飛散防止ネットの無償貸与を行っている。</p> <p>また、ボックス型のごみステーションを整備する町内会等に対して、助成制度を設けているが、場所の確保が困難で設置が進まないため、令和3年度から折り畳み式ごみステーション整備に係る経費についても対象とし、年度当初に全ての町内会に対して助成制度の案内チラシを配布する等周知を図っているところである。</p> <p>なお、助成にあたっては、車両や歩行者が道路を安全に通行できることや、収集作業に支障がないか等の要件を満たす必要があることから、具体的な設置場所等についてはご相談いただきたい。</p>
5	りとるコ アラ	<p>⑤ りとるコアラでは、小中学校での「ブックトーク」の推進に努力している。</p> <p>そこで紹介した本が訪問先の学校にない場合、市立図書館の本を1か月ほど、学校に対し団体貸出ができないか。</p> <p>今までは、図書館の規則のため叶わず、熱心な学校司書が個人のカードで借りて対応していた経緯がある。</p>	<p>⑤ 子どものときに読書の楽しさに目覚めて、読書の習慣をつけることは重要であると考えている。皆様には、子供たちがその楽しさに早く気付くための活動を展開していただき、感謝申し上げます。</p> <p>学校への貸し出しについては、令和3年度より「学校団体カード」を登録の上、1か月間、最大60冊まで貸し出しができる「学校図書館支援図書サービス」の運用を始めたところである。</p> <p>こちらをぜひ活用して、ブックトークの推進にお役立ただいただければと考えている。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】 市長回答のとおり。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	鴨池校区 コミュニティ協議会	<p>⑥ 学校のPTA役員は、学校で色々な作業をするが、どの学校もネット環境が整っていないようである。Wi-Fiがあれば、保護者間でのメール交換などでき、文書作業も時間の節約になり、PTA役員になってよかった、楽しかったと思えば、子育てにも反映されるのではないかと思う。</p> <p>以前、各学校の屋上にWi-Fiを設置できたら、という話を市長から聞いたが、そういう環境を整えていただけたら保護者は助かると思うが、どう考えるか。</p>	<p>⑥ ICTを活用して、効率化を進めることは重要と考える。</p> <p>ご紹介した案件は、千葉市の事例で、面白いことをやっている。楽天モバイルに基地局設置スペースとして学校の屋上を貸す代わりに学校にネット回線を入れるというものである。これは早く手を挙げたところしかできないもので、今から鹿兒島でというのは難しいと思っている。</p> <p>一方、これから皆さんに使っていただける環境としては、児童クラブに順次、パソコンとネット環境を入れていく。児童クラブの支援員の仕事を軽減して、なるべく子供に向き合う時間に使ってほしい。</p> <p>導入した後は、そこからWi-Fiを飛ばして、PTA役員の保護者に使ってもらったり、今考えているのは、先般、小中学校で一人1台PC・タブレット導入を実現したが、中には家にネット環境ない子供たちもいるので、そのような子供たちに使ってもらえる仕組みできないかと思っている。仕組みができた際には、児童クラブのネット環境を使ってもらえたらと考えている。</p> <p>また、町内会などもそうだが、事務でやることは共通しているはずである。例えば、共通で使うソフトを一括契約できないかと思っている。そこで、例えばこういった業務ができればありがたい、といったお話をいただきたい。ぜひICTを使って業務の効率化に取り組んでいきたい。</p>	<p>総務局</p> <p>こども未来局</p> <p>教育委員会</p>	<p>【総務局】 ICTを活用した行政の効率化や、公共施設のWi-Fi整備については、引き続き事業課と連携して進めていく。</p> <p>【こども未来局】 児童クラブにおいては、4年度中にインターネット環境を整備し、市や保護者とのメール通信を可能にすることで職員の事務負担の軽減を図るとともに、学校から貸与される児童用のタブレットの利用もできるよう準備を進めているが、クラブでは業務上、個人情報を取り扱うため、今回の整備においては、セキュリティ上、クラブの端末及び児童用タブレットのみとし、第三者のWi-Fi利用は考えていないところである。</p> <p>ただし、PTAの使用教室が、児童クラブのネット回線を利用できる環境にある場合は、セキュリティ対策を講じた上で、PTAの利用を認めていきたい。</p> <p>【教育委員会】 単位PTAの活動のためのWi-Fi設置については難しいと考えている。</p>
7	みんサポ かもいけ	<p>⑦ みんサポかもいけでは、約40名のボランティアメンバーが所属している。地域でボランティア活動を行うメンバーのネットワークを作りたい。</p> <p>行政として地域密着の「人材バンク」の取り組みがあれば教えていただきたい。また、もっと地域に根差した活動のアイデアがあれば教えてほしい。</p>	<p>⑦ 中高年の方がこれまで身に着けた技能・経験を生かして、世の中の役に立っていただけることは大事なことだと考えている。</p> <p>講師の派遣という点では、登録いただいた「元気高齢者」を高齢者クラブや町内会などの団体に紹介する「元気高齢者活動支援事業」を行っている。</p> <p>また、ボランティアの人材バンクに関しては、特に高齢者に限定したものはないが、社会福祉協議会の「ボランティアセンター」には、センターに登録したボランティア活動を行いたい個人・団体と、ボランティアを求めている方とのマッチングを行うコーディネーターがいるので、ぜひご活用いただきたい。</p>	健康福祉局	<p>【健康福祉局】 市長回答のとおり。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	プティエコール	⑧ 女性や若者が地域活動に意欲的に参加するために、市としてはどのようなサポートが可能か。	⑧ 男女共同参画に係る講座の開催や学習会への講師派遣等を通じて、意識改革や男女共同参画に関する気づきを得ていただくための取り組みを行っている。 また、若い世代の方々については、地域の活動に参加したいが、きっかけが分からないという方がいる。 この3月から、引っ越しした際にインターネットで申し込むと町内会の担当者の方につながり仕組みを整えた。町内会の加入率アップには、引っ越してきたタイミングをとらえて取り組むことが必要であると考えている。こうしたことを通じて、若い方が自分たちの地域のことは自分たちで作っていこうとするきっかけとなるように、今後とも取組を進めていきたいと考えている。	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
9	中郡地域コミュニティ協議会	⑨ 中郡地区では、防災行政無線が聞こえないため改善してほしい。現状は、紫原小と鴨池中に設置しているもので、中郡地域に周知することになっている。肝心の災害時に、特に高齢者は防災行政無線からの情報が重要である。	⑨ ご要望については、担当課から話を聞き、後日回答する。	危機管理局	【危機管理局】 今回のご要望を受け、中郡校区エリア内で防災行政無線放送の音達調査を実施し、ご指摘の通り放送が聞こえにくい箇所があることを確認したところであるが、本市では、市域の面積が広く地域で大きく状況が異なるため、防災行政無線の屋外スピーカーによる放送だけでは、全ての市民へ情報をお伝えするのが難しく、代替手段として防災行政無線と同じ内容をプッシュ型でお届けする以下の5つの方法を紹介し、利用しやすい方法での情報収集をお願いしている。 ①緊急速報メール ②登録制メール 「安心ネットワーク119」 ③市公式LINE ④登録制FAXによる連絡 ⑤防災ラジオ 中郡校区にお住まいの皆さまに対し、代替手段を周知するチラシの配布や「出前トーク」を実施するとともに、防災無線が聞こえず、代替手段も確保されていない方には、個別に相談に応じてまいります。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	りとるコア	⑩ 図書館発行の「絵本ガイド」の活用が進んでおらず、質の高い本が子供たちの手に届いていない。 「絵本ガイド」で紹介されている絵本を市内の幼稚園・保育園に長期で団体貸出できないか。(半年間、20冊程度)	⑩ 市立図書館では、移動図書館の閉架図書を団体貸出として提供しており、「絵本ガイド」に紹介されている本についても団体に提供できるよう、館内の本を移動図書館の閉架に移すことを現在検討しているところである。 ただし、多くの利用者・団体の皆様にご利用いただくという観点から、1か月を超えるような長期の貸出については難しいところである。	教育委員会	【教育委員会】 市長回答のとおり。
11	鴨池校区コミュニティ協議会	⑪ 青少年健全育成活動について、主に教育委員会の所管と思われるが、地域での取り組みはコミュニティに任されているのか。これまで、「青少年健全育成大会」や「立志の集い」など地域で実施してきたが、子供たちの価値観も多様化する中で、一言で青少年健全育成と言っても何が健全育成なのか考えるところであり、これまでやってきたものを踏襲するには時代と乖離してきているように思う。 (1)この委員会活動の管轄を担当する部局課はどこか。 (2)青少年健全育成の取り組みを市は地域コミュニティ活動に求めているのか。 (3)求めているならば、どのような活動を求めているのか教えてほしい。	⑪ (1)青少年の健全育成に関する取組については、教育委員会の青少年課において対応しているので、ご相談いただきたい。 (2)青少年健全育成を地域の中でどのように行っていくかという点については、地域のことをよく理解している地域コミュニティ協議会など関係機関が連携しながら、地域ぐるみで取り組んでいくことが大切であると考えている。 (3)何をもって青少年健全育成に役立つかということは、時代や地域によって変わってくるものであると思う。ぜひ、これまでの活動の形式にとらわれず、地域の実情やニーズに合わせ、取り組んでいただければとありがたいと思っている。	教育委員会	【教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	鴨池校区 コミュニティ協議 会	<p>⑫ インクルーシブ教育について、市ではどのように考えているか教えてほしい。</p> <p>支援学級の数は増えているが、必ずしも専門的な知識を持った先生が就いているわけではないようだ。先生によってばらつきもあると聞く。また、先生方に話を聞くと、特別支援のための勉強をする時間がなかなか取れないと聞く。</p> <p>一方で、特別支援学校に行くと、通常の学習時間が極端に少なくなってしまうのが現状だ。</p> <p>学校や地域におけるこれからのインクルーシブ教育について、鹿児島市としてはどのようなビジョンを持っているのか。インクルーシブ教育の前にやるべきことがあるという考えならば、それについても教えてほしい。</p>	<p>⑫ 学校教育における「共生社会」の実現に向けて、インクルーシブ教育システムの構築が求められていると考えている。</p> <p>インクルーシブ教育は、障害のある子供と障害のない子供が、可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指す概念だが、子どもの発育には個人差があるため、一人ひとりの発達段階や教育的ニーズに応じた確かな指導を提供できるように、通常の学級や通級による指導、特別支援学級といった様々な選択肢を用意することが重要だと考えている。</p> <p>現在のところ、具体的なビジョン等は定めていないが、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶ取組を計画的に実施することが必要だと考えている。</p> <p>今後も、ニーズに応える指導を提供できるよう、多様な学びの場をより一層、充実させてまいりたい。</p> <p>県議時代、県でも色々な議論があると認識しているので、県の取組も積極的に情報収集しながら取り組んでいきたいと考えている。</p>	教育委員会	【教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	みんサポ かもいけ	<p>⑬ 路面電車のある県庁所在地で、県庁前に路面電車が通っていないのは鹿児島市だけである。 鴨池港まで市電の延伸について、市長の見解を教えて欲しい。</p>	<p>⑬ 市電の延伸については、約20年前に市内18地区を対象に調査を行い、県庁・鴨池港方面への延伸についても検討を行った経緯がある。公共工事全般では、B/C(ビー・バイ・シー)という評価指標を用いる。C=コストがいくらかかって、B=便益がどれだけあるのか、お金の換算して評価するもので、これが1を超えるとやってもいい、1に足りないと苦しいとされる。延伸ルートの候補の最後に残った谷山でも、1にはるかに満たない数字が出た。 それから20年経ったが、当時と比べて交通局の経営が非常に悪くなった。市電延伸に関しては、よほど費用便益分析でいい数字が出ないと厳しい。ひとたび延伸となると、数十億、数百億円単位で費用が発生する。人口減少時代にそれが確実に回収できるのか、という点で市電延伸はハードルが高いことはご理解いただきたい。 よく「市電は儲かっている」という誤解があるが、全くそのようなことはない。市電にかかる費用のうち、運賃で賄えているのは半分程度。半分は赤字として、公共交通を支えるため税金を投入している。なお、バスに関しては、1/3が運賃で、2/3は赤字。当然、公共交通だから赤字でもやらなければいけないところがあるため、必要なことだが、それにも限度がある。コロナで利用客が減ったこともあり、交通局の経営は色々と考えながら行っているところである。そういった点で、現在、市電延伸については費用対効果の面で、厳しいとご理解いただきたい。 人口減少時代にも利用される、市内どこに住んでいてもやりたいことができる、このようなまちづくりを目指し、特に公共交通の構築に力を入れてやっていきたいと考えているので、ぜひアイデアをいただきたい。</p>	<p>企画財政局 環境局 交通局</p>	<p>【企画財政局】 市長回答のとおり。</p> <p>【環境局】 さらなる利便性・回遊性の向上を図るため、現在、スマートフォンアプリを利用した新たな「かごりん」の導入に向けて取り組んでおり、令和5年度中の供用開始を予定である。 サイクルポートの増設については、既存ポートからの乗り継ぎのしやすさ、貸出用自転車の配置や利用状況など、各面から今後検討していきたい。</p> <p>【交通局】 市長回答のとおり。</p>